

H26 1

(1) $w_i^{(t)}$ と $w_i^{(t-1)}$ の関係

題意より

$$\begin{cases} w_i^{(t)} = \prod_{j=1}^t p_i^{(j)}(x_j) \quad \dots ① \end{cases}$$

$$\begin{cases} w_i^{(t-1)} = \prod_{j=1}^{t-1} p_i^{(j)}(x_j) \quad \dots ② \end{cases} \quad \text{と表せるので、}$$

①を②で両辺割ることで、

$$\frac{w_i^{(t)}}{w_i^{(t-1)}} = p_i^{(t)}(x_t)$$

$$\underline{w_i^{(t)} = p_i^{(t)}(x_t) w_i^{(t-1)}}$$

$v_i^{(t+1)}$ の計算式

重み付けの比率は

$$v_1^{(t+1)} : v_2^{(t+1)} : \dots : v_N^{(t+1)} = w_1^{(t)} : w_2^{(t)} : \dots : w_N^{(t)} \quad \text{より}$$

$$v_i^{(t+1)} = \frac{w_i^{(t)}}{\sum_{j=1}^N w_j^{(t)}} = \frac{p_i^{(t)}(x_t) w_i^{(t-1)}}{\sum_{j=1}^N p_j^{(t)}(x_t) w_j^{(t-1)}} \quad \text{と表せる}$$

(2) 以下、各 t における各予報士 i ($1 \leq i \leq N$) の尤度を保管するための長さ N の配列を W と定義し、利用する。(但し、これは t にあわせて動的に更新されるものとする)

このとき、 t 日目におけるシニア予報士の予測確率分布を各 t について計算する
時間計算量 $O(NT)$ のアルゴリズムの疑似コードを次ページに示す。

なお、コード中の `// (コメントアウト)` に、その内容の補足を記す。

$W[i] = 1 \quad (1 \leq i \leq N)$ // 初期化

for t in $\{1..T\}$

$W_{sum} = 0$

 for i in $\{1..N\}$ // t 日目の予測直前の各予報士の尤度の総和

$W_{sum} = W_{sum} + W[i]$

$p0, p1 = 0.0$ // t 日目におけるシニア予報士の $P(x=0), P(x=1)$ の値

 for i in $\{1..N\}$

$weight = W[i] / W_{sum}$ // 各予報士の予測を重み付け

$p0 = p0 + p_i^{(t)}(0) * weight$

$p1 = p1 + p_i^{(t)}(1) * weight$

 for i in $\{1..N\}$

 // t 日目の実データより W を更新

$W[i] = W[i] * p_i^{(t)}(x_t)$

上記のアルゴリズムでは

$W[i] := t$ 日目に用いられる予報士の尤度 $(1 \leq i \leq N)$

が任意の t に対しループ不変式として成り立っていることに注意する。

この時、この総和を $O(N)$ で求めておけば、各 t において、任意の予報士の重みを $O(1)$ で計算できる。 ($= W[i] / W_{sum}$)

したがって、各 t においてシニア予報士の予測確率分布も $O(N)$ で計算することができる。

t 日目の最後では、予測後に得られた実データを利用して、 W の配列を $O(N)$ で更新すること、ループ不変式を維持することに注意する。

計算量について評価する。

各 t において、幅 N のループを高々定数回回っているため、 $O(NT)$ で動作する。

(3) 定義より

$$\hat{p}^{(t)}(x_t) = \sum_{i=1}^N v_i^{(t)} p_i^{(t)}(x_t) \dots \textcircled{1}$$

$$\text{また、 } v_i^{(t)} = \frac{w_i^{(t-1)}}{\sum_{k=1}^H w_k^{(t-1)}} \dots \textcircled{2} \quad \text{とある。}$$

つまり

$$\begin{aligned} \text{Loss}(\mathcal{X}^T) &= - \sum_{t=1}^T \log \hat{p}^{(t)}(x_t) \\ &= - \sum_{t=1}^T \left\{ \log \sum_{i=1}^N \frac{w_i^{(t-1)} p_i^{(t)}(x_t)}{\sum_{k=1}^H w_k^{(t-1)}} \right\} \\ &= - \sum_{t=1}^T \left\{ \log \frac{\sum_{i=1}^H w_i^{(t)}}{\sum_{k=1}^H w_k^{(t-1)}} \right\} \quad (\because (1) \text{ の } w_i^{(t-1)} \text{ と } w_i^{(t)} \text{ の関係式}) \\ &= - \sum_{t=1}^T \log \left(\sum_{i=1}^H w_i^{(t)} \right) + \sum_{t=1}^T \log \left(\sum_{k=1}^H w_k^{(t-1)} \right) \\ &= \log \sum_{k=1}^N w_k^{(0)} - \log \sum_{i=1}^N w_i^{(T)} \quad (\because \text{差分は2項を相互相殺}) \\ &= \log N - \log \sum_{i=1}^N w_i^{(T)} \\ &= \log N - \log \sum_{i=1}^N \left(\prod_{t=1}^T p_i^{(t)}(x_t) \right) \end{aligned}$$

(但し、0日目までのデータ列に対する各予報士の尤度は $p_i^{(0)}(x_0) = 1/H$ 7で与えられることを利用している。)

④ i番目の予報士のT日間の累積予想損失を $\text{Loss}(i)$ とする。

$$\text{Loss}(i) = - \sum_{t=1}^T \log p_i^{(t)}(x_t) = - \log \prod_{t=1}^T p_i^{(t)}(x_t) = - \log w_i^{(T)} \dots \textcircled{3}$$

とある。

この時 ③ 及び (3) の結果より 任意の i_0 ($1 \leq i_0 \leq N$) に対して

$$\begin{aligned} \text{Loss}(i_0) + \log N - \text{Loss}(\chi^T) &= \log N - \log W_{i_0}^{(T)} - (\log N - \log \sum_{i=1}^T w_i^{(T)}) \\ &= \log \left(\sum_{i=1}^T w_i^{(T)} \right) - \log W_{i_0}^{(T)} \\ &\geq 0. \end{aligned}$$

$$\therefore \text{Loss}(i_0) + \log N \geq \text{Loss}(\chi^T)$$

上式は i_0 に依存しないので、

$$\therefore \min_{1 \leq i \leq N} \text{Loss}(i) + \log N \geq \text{Loss}(\chi^T) \quad \blacksquare$$